いわき民報
發行所 平市田町48 電381 176 1222 いわき民報社
編集兼印刷發行人 田原登

# 夏井、赤井から春繭初出荷
## 上質で昨年より五日早い

夏井、赤井の兩村では十三日郡下のトップを切つて春繭を出荷した、今年の出荷は昨年よりも五日早く一時は桑不足のため郡外から四千貫も桑の買入れ等を行つた仕末であつたが結果は案外よく管内の春繭は二万貫と豫想されている
十三日片倉平製糸工場へ入荷されたのは夏井二百貫、赤井五十貫で十四日は引續き赤井、小川、平、草野、大野、好間等から約千貫入荷の見込みで今月下旬には終る見込み、養蠶家の希望價格は貫當り八百八十円だが大体において八百円程度とみられて居り昨年より約百円台の値上りを見て居る

# 九名起訴さる
## 公務妨害、建造物非退去で 押掛事件の容疑者

十二日地檢平支部では平職安所押掛け事件の容疑者平自由勞組長野崎峰（一九）石城地區自由勞組協議會長佐久間喜代治（二三）内郷自由勞組長河端助松（二四）の三名を公務執行妨害並びに建造物非退去罪でまた内郷町宮高萩善成（二五）内郷町白水安藤環（三二）平市古鍛治町會川良平（二六）内郷町綴加藤キヨノ（二八）平市鎌田町長岡需（三五）内郷町白水渡邊良雄（三一）の六名を建造物非退去罪で夫々起訴した、なお平市十五丁目佐藤昭吾も一兩日中に起訴になるものと見られている

# 炭勞と鑛連は納得
## 隅田川スト交渉中

好間村隅田川炭鑛勞組のストで磐炭勞では十二日午後一時から大河原執行委員長ら六名が東部石炭鑛業連盟の小島專務理事ら代表と山元の團交のけい機を見出す爲の話合いを進めた結果、炭勞側の指示した三井、中華の協訂の考え方に從つて、基準賃金十二月協定通り、精勤賃與を日數に應じて出す、能率賃與制度を設けるという條件に就き連盟側も納得午後六時閉會したが、山元では十三日事務折衝をもちこの基本線をもとに交渉を進めることになつた

### 社會黨スト支持

日本社會黨常磐地方協議會では十三日、隅田川爭議を強力に支援する旨の聲明書を發表決議文を鑛業連盟に手交し黨員一名平均二十円（五百名）の資金カンパを行い街頭募金を實施、日農を中心に農家から米の一握り運動を展開すること等を決めた

# 中小企業ブロック會議
## 廿八日、石城双葉の關係者會合

縣中小企業振興本部主催の中小企業ブロック會議は二十八日午後一時より平市地區商業協組に石城、双葉の關係者が集り開く、當日は福島大の玉山山岡兩敎授並に振興本部の平子事務局長らの講演がある

# 三つ巴戰か
## 川部村長選擧

川部村々長の選擧は來る二十八日に決定したが十二日までに立候補者として資格審査の手續きを了したものは中村研一、小野敏棡、鈴木長治の三氏で十八日には資格審査が打ち切りとなつており時日も切迫している事でもありこれ以上名乗りを上げる者はないらしく三つ巴の激戰を展開するであろう

# 拔打的に度量衡檢査

物價の値下がりをハカリ目のごま化しによつてカバーしようとする悪質な商店がポッポッ現われている傾向から平市物價監視委員會、市署、市商工課では事を重視し十二日拔打的に市内の商店に對し度量衡の一齊取締りを實施したがここ二、三日中續行する
此の結果手入不充分のため幾分不正確になつていたもの二件を發見、直ちに修理するよう指示した

# 農休み決る
## 市内小學校

平市内小學校の農休みは一、二、三小はなし、五小一年—三年十日から二十五日まで、四年—六年十六日から七月一日まで、六小一年—三年十三日から二十八日まで、四年—六年十六日から七月一日まで

# 人命救助で三名を表彰

小名濱町公安委員會では十二日同町辰見町二漁業八崎丸こと瀧内與左エ門方漁夫佐藤昭二（二二）同じく相馬富雄（一九）同町岡見町時計商牧田清（三〇）の三名を人命救助で表彰した、去る五月二十四日午後十一時半頃同町三千屯岸壁から投身自殺を圖り苦悶中の湯本町常磐炭鑛鹿島坑住宅野木一之（二二）を海中に飛込み協力の上救助したものである

# 死を決す回想錄
## 一家心中事件の後聞

勿來町大字關田字須賀一ノ五〇無職渡邊壽富（六九）妻キク（五七）三女京子（一八）の三名は去る六日カルモチンやアドルムを飲み一家三人心中を計り壽富、キクの兩名は間もなく絶命、壽富は若い頃勿來町小學校に敎鞭をとり其後同町九面でアワビ等の海産物商を手廣く營んで居つたが事業に失敗上京して山海堂書房の支配人に迄なつたが東京空襲の余波で故郷に疎開製鹽工場を經營していた、また殘された京子は昨年の十月同町第一小學校に敎員として奉職して居つたが本年三月に入つて失明狀態となり退職、老父に手を引かれての病院通いで近所の人々の眼を引いていた京子さんの語るところによると、壽富の綴つた去る一月からの回想錄によれば五月初めすでに死を決していたことが明かであり辭世の短歌や追錄等で埋められ親戚宛の遺書狀には娘京子は次第に回復には向つているがとうてい一人歩きは出來ず自分の腸ガンも近頃惡化の一途をたどりもう一度再起したいとも思つたが身体の苦痛でそれも出來ない始末である、卑法な樣だがもう此の世の中がいやになつた六日は吾々が此の世の最後の日です、五日の夕方には大福餅などを買つて一家三人樂しい一刻を過しましたと綴り辭世には『いくたびも思ひなやみし末なれどなお胸せまる亡き後のこと』外一首がしたためられてあつた

# 土砂崩壞頻々
## 雨の被害續出す

平地區署に入つた各管内町村の豪雨による被害は次の通りである
◇十二日夕刻上小川丸山地内で約十間の土砂崩れがあり（一市六ヵ町村灌漑）五十米の小川江筋が埋沒され損害百万円とみられ復舊工事に當つているが二、三日かかる模樣
◇十二日早朝川部村小川地内（川部—勿來間）の灌がい用水路約五十五米が土砂崩れで埋沒、損害八十五万円程度
◇十二日夕刻好間村—箕輪村間の三阪縣道が山崩れで十五米程交通遮斷された
◇十二日午後七時赤井村では三町歩の冠水被害あり
◇十二日午後七時ころ下小川村字台と平市平窪との境にあるすい道（用水路）が大石を混えた土砂崩れにあつた

# 金を貸せと脅喝
## 被害者の氣轉で二人組擧る

湯本町淺貝十丁高橋良男（二一）と同町榮田無職大友正巳（三〇）の兩名は共謀で十一日午後一時半ころ市内田町世界舘前を通行中の泉村瀧尻字上谷地農吉田强司（一六）と同村玉露字前原旋盤工田子博之（一七）の兩君をよび止め白銀町鐵道官舎附近の道路に連れ出し〃藥がなくて困つているから金を貸せ〃とおどかしたが吉田君は〃金を持つた友人が田町の鈴木病院にいるから〃と被疑者の大友をだまして同病院に連れてゆき、電話で平市署に連絡したため脅喝未遂で大友高橋は現行犯で捕まつた

# 鮫川で溺死
## 魚釣り少年

田人村黒田字中野一二、三和炭礦坑夫淸治郎三男佐久間利男（一〇）が去る四日學校歸りに二、三の友達と自宅から二キロ位離れた鮫川の下流に魚釣りに出かけたが誤つて岩石から足を踏み外ずし濁流にまき込まれ行方不明となつたが六日午後三時頃溺死体となつて發見された

# 民委を選任

平市では先に辭任した井上、大森、渡邊の三民生委員の後任を選任するため十二日午前九時より民生委員推薦委員會を開き左記三氏を選任した
△佐藤滋（南町）小野金五郎（北白銀）熊谷保高（五丁目）

# 内郷商工會（假稱）を設置
## 十六日 第一回設立準備會

内郷町中小商工業者の運營金融方法に關する懇談會は十二日午前九時から内郷町淺野記念館で開催、百三十名が集會協議の結果、商工會（假稱）を設置することに意見が一致準備委員として瀧生正利、佐藤榮、川島常雄、沼田一夫、菅本三義、佐藤三平、志賀藤一、阿部政藏、赤土興榮、本田辰雄の十氏が選出され、第一回設立準備委員會を十六日午後四時から役員會議室で開くことになつた

# 人妻が縊死
## 新居宅内で

錦町大字中町大工杉山三郎妻ブン（三四）は十二日午後一時頃自宅から約二十米ばかり離れた新築中の居宅内で縊死してゐるのを長女文子（九ツ）が發見した、何事もなく親子四人が晝食を共にしたばかりで發作的な精神異狀と見られる

# 植田町に出張所
## 職安所で常駐六名を置く

平職安所ではこの程植田町地内に出張所を設置し常駐員六名を置いて全町を初め勿來、錦、山田、上遠野、入遠野、田人方部の失業對策事業を初め安定所業務一般の取扱を行うことになつた
全方部の失業者は潜在を含めて約三千人とみられて居り今週中に關係町村長會議を開き出張所設置ヵ所を決定、來月一日ごろから十五坪程度で着工の豫定だが豫算の面で關係町村の出費も必要とされて居り田人、植田の如きは先に縣に陳情を行う等の動きをしめして居るので相當協力するものとみられている

# 大野に破藏
## 肥料盗まる

十二日午前六時四十分頃大野村袖玉山農業草野林平さん方では土藏の壁を二ヶ所程突き破られ石灰窒素（六貫目入）二俵、化りん酸十貫目硫安十貫目を盗まれた

# 石鹼販賣店の登錄延期

十日から十四日迄の間に行わねばならぬ石鹼販賣店の登錄更新に就いてその料金が五百円で不滿の聲が高かつたが十二日石城地方事務所經濟課に『この登錄更新は縣から通知を出すまで一時延期せよ』との連絡に接したので各町村に通知した

# 二人組の余罪

九日窃盗容疑で平市署に捕まつた平市新川町土工平友四郎と二丁目土工向原昭二（一八）の兩名は十二日送檢されたが余罪次の通り判つた、向原は三月中旬ころ賀弟幸四郎（一四）が市内南町洋裁業高野幸一さん方から丸八型七石入の女物腕時計（時價千五百円相當）を盗んで來たものを賣つてくれと頼まれ所持していた外、友四郎は住所不定無職加藤久雄（一七）と内郷町小島飯田十三雄方同居人姓不詳光夫（一七）と共謀三月十四日夜新川町煙草小賣店佐藤昌文さん方から『光』四十ヶを盗んだこと等である

# 天氣予報 十三日

【今晩】北東の風、曇時々雨殊によると一時强い雨
【明日】朝夕曇勝ちまだ一時雨が殘り日中は一時雨よりの風天氣は幾分よくなり時には薄日もさす、明後日も同樣、海上は霧がかかり沖合は波立つから漁船は十分御注意、小名濱港における降雨量は九日以來一二五ミリ卸當り二石二斗九升

第一級酒 純粋清酒
伊勢盛 リカサセイ
江名町 電28
近藤本家釀造

御節句の御返し物には
藤越の漆器を
平市銀座通
藤越 家具部
電 1280 711

特選五月人形 特賣

市價の三割安
東京人形製造元 本間商店直賣
特約店
上原商店
平市白銀町（電22）

泌尿器科 皮膚科
性病科 矢吹醫院
平市縣社下
電一一九三・一一九五番

十一屋の アイスキャンデー アイスクリーム
昨年中は皆樣の絶大なる御聲援を賜わり厚く御禮を申上ます。本年も舊年に倍し御最負の程御願い申上げます。
平市四丁目 電三七三番 十一屋冷菓部

なんといつても日本一うまいのは
ブルドック ソース
一度風味をお試し下さい
各販賣店

第四回 絶對當りくじの多い
東邦の寶定期預金
一口 千円 半年 無税
【只今取扱中御報參上】
特賞十萬圓外多數
電一〇八 三〇八 一一一四
東邦銀行平支店

開店お知らせ
百円以上お買上げの方に市價一割安販賣（本日より一週間）
乾のり 果實類 佃煮類 罐詰類 乾干物
新鮮とサービス
猪狩誠食料品店
どうぞ…御來店下さい
平市五丁目馬目染物店向

税金のかゝらぬ
勧銀福徳預金
幸運賞 50万圓
特賞 10萬圓
その他空くじなし
一口 千円 期間六ヶ月
賣出中
日本勧業銀行平支店

# 水産版

## 海區漁業 調整委員選擧 選擧人名簿 來月十日作製

### 8月15日

新漁業法による石城、双葉、相馬の各海區漁業調整委員會委員の選擧は八月十五日に控えて町村の選擧管理委員會では今月十五日から二十日まで選擧人名簿登載申請書を受付け七月十日に町村選擧管理委員會で選擧人名簿を作製することになつた、この選擧權（被選擧權）を有するものは

△漁業者又は漁業從事者であること△石城、双葉、相馬の海に沿つた町村に住所又は事業場を持つていること△一年に九十日以上漁船を使用する漁業を營み或はこれに從事することとなつている

石城地方事務所ではこれに先立ち十四日同所に勿來、植田、錦、泉、小名濱、江名、夏井、高久、草野、四倉の十カ町村關係者を集め第一回の事務打合會を開く

青森、岩手兩縣の底曳漁區解放申入れは縣の都合で二十日以向に行うことになつた

## 好成績の 一艘旋 喜久丸の初航海

縣下のトップを切つて一艘旋の巾着網に轉換した江名町坂本喜代松氏所有カツオ船喜久丸（六十八トン）は四日間の初航海を終えて八日江名港に入港、カツオ六千貫を水揚げした、漁場は鹽屋崎三十五マイル沖合で僅か四日間でこれだけの水揚げを示した同船は好成績だと早くもハマから注目を浴びている

### 鰹鮪組合談

右について縣カツオマグロ漁業協組では

喜久丸の成績は確かによいけれどもそれだけでカツオ船が一本釣から旋網に轉換するとは考えられない、目下のところビン長釣が良いのでやはり大型船はこのまゝ一本釣のままで當分進むのではないかと語つている

## 指導船江名に水揚げ

縣指導船共盛丸（百二十八トン）は二日以來カツオ漁に出漁中だつたが十日朝ビン長マグロ二千貫、バチマグロ四百貫を積んで江名港に入港、水揚げした、同船は今まで母港の小名濱にばかり水揚げしていたが共盛丸運營審議會の方針によりこれからは小名濱、江名の兩港にそれぐ\水揚げし縣民の船として進むことになつた

## 魚屋も許可制 來月から保健所で

縣規則『食品衛生法施行細則』の一部改正に伴い七月一日から魚屋さんも許可制度になる、即ち鮮魚の營業販賣を行うものは平保健所に申請し一定の衛生基準に合わせて檢査を受け不合格の場合は營業の許可がおりないことになつた同保健所の許可申請受付日割は追つて發表されるが魚介類販賣業の衛生檢査基準は次の通り

◇適當な方法により他と一定の區劃をなし、その面積は通常の取扱數量を處理するるのに必要な廣さを有すること◇床は耐水材とし排水に適當な設備をし内壁は耐水材で高さ一米以上の腰張りをすること◇採光換氣に充分な施設をしすき間のない天井を張ること◇飲用に適する水を充分に供給し得る設備をすること◇取扱の數量に應じた容積であり正確にして充分機能を有する温度計を備えた冷藏設備を設けその内部は汚染を防ぐ設備をすること◇有蓋で充分な容量の耐水性の廢棄物容器を備え汚染汚臭の洩れないようにすること◇防塵防虫、防鼠設備の完全な陳列場及び容器具類置場を設けること◇便所を隔絶し便所には流水式の手洗所を設け防虫設備をすること◇生食用魚介類を取扱う場所は防虫設備をし專用の器具を備えつけること

## 多いぞビン長の群 指導船の漁場便り

カツオ漁から歸つた縣指導船共盛丸（百二十八トン）は沖合漁況を次の如く齎らした

△…今度の航海でビン長マグロ漁が非常に有望であることがわかつた、特に銚子東沖百八十マイルに當る北緯三十六度、東經百四十四度乃至五度附近は好漁場で水温二十度五分が良かつた群は素群と鳥つきが多く薄く小さい群だが澤山いた、約三十群に出會つた、餌付もそう惡くはないし大いに期待出來そうだ、この二十度の好温水帶は巾三十マイルの水帶をなしていたが二十一度水は是をはさんで六十マイルの巾をなしていた

△…カツオの群には二度ばかり出遭つたが大したことはなくむしろビン長を追つた方がよさそうだ、鹽屋埼六十マイル沖合では底曳船がビン長を追廻しているがこの沿岸よりは沖合の方が有望である、カツオにしても相當沖合の群を追えばよいのではないかと思われる

## 旋網に書替 揚繰の許可書

縣では從來の揚繰漁船の許可書を旋網に書替えることになり近くその手續をとることになつたが縣内の揚繰許可船は小名濱二十八隻、四倉九隻、中村七隻の計四十四隻である

## "無檢査時代"到來 十日から加工業界に異變

水産製品の無檢査時代が到來した指定農林物資檢査法は九日限りで廢止となり縣が今度縣會に提出する水産製品檢査條例が通るまでは無檢査製品でもどこからも横槍が出ないことになりそれまでは小名濱江名、四倉、中村の各檢査支所でも仕事がなくなり全くの檢査の空白時代となつて仕舞つた、このため小名濱ではサバの大漁で各製造業者がサバのナマリ節等を作つたがこれは一錢の檢査料金も拂うことは必要なくなつたため貫當り四円の檢査料が丸々業者側の得と云う事になつた、檢査所側ではこの空白時代と云えども製造面で大いに"指導"するから魚油の酸化による檢査等はどしぐ\申込む樣にと仲々のサービス振を示している

## 冷凍工場も記錄破り ビン長の豐漁で大量保管

ビン長マグロの豐漁で大型カツオ船は勿論底曳船もホクホクものだがこれを冷凍魚として輸出する關係から冷凍工場でも久しぶりに活氣ずいた、特にこの輸出用ビン長マグロの冷凍をこれ程大量に扱つたのは工場側としても始めてだと關係者を驚かしている、以下工場側の話し

【日本冷藏小名濱工場】收容能力は二百三十七トン（六万貫）冷結日產十六トンに對し在庫はビン長二万六千貫、何れも冷凍魚皿に鑵詰の輸出用として同社が買入れたもの、まだ一車も出荷していない、このほか同社の江名工場（收容力百六十四トン、凍結日產二トン半）は一般業者に解放した、なおサバ若干も冷藏している

【縣鰹鮪漁業協組江名冷凍工場】收容能力二百十六トン、冷凍日產五トンに對し現在ビン長の在庫は七千貫このほか二千五百貫を出荷している、これは東京のマイナミ貿易の買付品でこのほか鹽釜のマルイス水産の買付品も扱うようになるかも知れない、ビン長が終ればカツオの冷藏をやる計畫施設が小さいので擴張しなければ大量の扱いは出來ない狀態にある

## 一日で卅萬圓 底曳のビン長釣好況 漁場は二つに分離

○…現在のカツオ並にビン長漁場は銚子東沖合の東經百四十三度から百四十六度、北緯三十四度三十分から三十三度三十分にかけたものと鹽屋崎沖合の東經百四十二度、北緯三十八乃至三十七度の沿岸の二つ、然かもビン長は依然として成績よく目下のところ九州の青カ島附近と鹽屋崎沖がビン長の二大漁場とされている○…先ず沖合の漁場は野島東二百里附近がその中心となつているがこの海區の水温上昇と共に余り漁獲は思わしくなく漁も幾分停滯ぎみとなつて來た、カツオ船は一齊にビン長からカツオに切換を始めた模樣

○…沿岸漁況は暖流の勢力が強くなつて來たため鹽屋崎近海は小型船（底曳）のビン長漁で賑い最近は大型船も割込んでおり相當の活氣を見せている、特に底曳船によるビン長釣は一日の航海で二、三十尾の漁獲を見せているが目廻りも三貫平均なので一尾千円換算で二、三十万円の漁獲を示めしている

## 東北海區に於ける利用の諸問題

東北海區水産研究所小名濱臨時試驗地 技官 山村彌六郎

東北海區は黒潮暖流と親潮寒流の相交錯する海域である、從つてその寒暖兩流の潮境―即ち潮目にはプランクトンの旺盛な繁殖があるため南の魚北の魚がこの潮境を目ざして集つてくる結果一大漁場を呈する、この海區は比較的水温が低く且つ餌料も豐富であるために、ここに索餌かい游する魚は脂肪が多くなる、例えば南方よりかい游して來るカツオなども房總沖を通過する頃より次第に肉に脂肪を增して來る、この多脂肪魚を如何に利用したらよいかが先ず第一の問題である、マグロのトロなどと云つて特に脂肪の乘つた刺身を賞美する場合もあるが、概して脂肪の多い魚は乾燥した場合も鹽藏した場合も所謂油燒の現象を呈して面白くない、この際に魚体を崩さず肉質を變化させずに脂肪を除く方法があれば肉質も向上するし魚体油の利用も出來るので一擧兩得である、この際に高周波を應用するとか、溶劑の三成分系の性質を利用して經濟的に且つ簡單に脂肪を抽出することが出來ないものであろうか―次は多獲魚及び下等魚の高度利用の問題がある

マイワシが忽えんとして姿を消した今日多獲魚として目されるものはサンマであるが、加工設備や冷藏設備のない港に不意に水揚された場合にはまことに困りものである現在サンマの利用としては鑵藏にするか開干にするかが主で一部鑵詰とかくん製に製造されているに過ぎない。大量に油蝶するとか、酢漬にするとか他の方法が考えられその大衆化が企圖されなければならない、下等魚としては肉にアンモニアの發生しやすいサメ類があるがそのアンモニア生成の機巧をせん明し、その發生を管理すれば結構高等魚の仲間入りが出來そうな氣がする筆者はアブラザメ肉のくん製について若干研究をしている、第三の問題として輸出品としての水産加工品であるが最近舞台の脚光を浴びているものにビタミン油スクアレンがありこれの資源の探索に大童になつている

又仙台灣のカキの溫くん油漬鑵詰もアメリカのバイヤ―間に好評を博しているという、中國方面向としては古くからあるフカヒレ、金し、銀し、等が矢張有望である

その他ある程度腐敗の進んだ魚肉の食用化の問題も取りあげなければならない

藥物としてはカツオ、アブラザメのスイ臓からインシユリンの製造、イカ、タコの煮汁からタウリン、アブラザメ、クロコザメの腦下垂体からホルモン劑、フグからのテトロドキシンの採製も或る程度有望視される

## 小名濱に 鯖の山 揚繰活氣ずく

小名濱港に待期中だつた揚繰船團がすぐ前の沖合でサバ群を追つて大漁旗をはためかせた―縣旋網漁協組の話によると七日大勝丸がカツオ四千貫を獲つたのを始め開運丸がサバ一万七千貫、壽和丸同じく一万三千貫、天榮丸一万貫と何れも近來にない豐漁でこのため魚市場はサバの山を築きこれを水揚げする作業は深夜迄かかるさわぎ、目廻りも百五十匁見當の大サバで値段も貫當り百円から四十円に暴落、サバ景氣を出現、加工業者もこのときとばかりサバのナマリ節を製造各地に出荷したが、然しこのサバ漁も海が時化たため永續せず十一統の揚繰船もその後海のなぎるのを待つて待期中にある

## 三十九万貫 縣下五月中の總水揚高

縣水産事務所集計による五月中の縣下總水揚高は三十九万四千九百九十二貫で昨年同期より十万六千四百三十六貫の減である、これは特にカレイが昨年に比して八万二百三十六貫も減つていることなど底曳の不振が原因で反對に昨年は全然獲れなかつたカツオマグロが今年は八万獲れている

【魚種別水揚高】（單位貫）◇イワシ四、四九七◇カツオ三〇、六一七◇マグロ四八、四六〇◇サバ一〇、四七五◇ブリ一二、五五三

【業種別の水揚高】◇底曳二一九、三二一◇旋網八、三〇七◇其ノ他敷網五五、二四二◇底置三九、六〇六◇延繩一三、一七六◇カツオマグロ一本釣二八九五三

## 今週の潮

| | 滿潮 | | 干潮 | |
|---|---|---|---|---|
| 十五日 | 二、三三分 | 一七、五三分 | 一〇、二三分 | [illegible] |
| 十六日 | 三、〇五分 | 一八、三三分 | 一〇、五三分 | [illegible] |
| 十七日 | 三、三五分 | 一九、一五分 | 一一、三五分 | [illegible] |
| 十八日 | 四、一五分 | 一九、五五分 | 一二、〇〇分 | [illegible] |
| 十九日 | 四、三五分 | 二〇、三五分 | 一三、〇五分 | [illegible] |
| 二十日 | 五、四〇分 | 二一、〇〇分 | 一三、四〇分 | [illegible] |
| 廿一日 | 六、一五分 | 二一、四〇分 | 一三、三〇分 | [illegible] |

## ラジオ JOCP JOHQ

【14日】郡山放送ローカル

前七・一五 宗敎の時間『神樣の愛』高木神父郡山カトリック教會牧師

後六・三〇 青年の時間 志賀直哉作『剃刀』岩橋アナ朗讀


●發疹チブス●

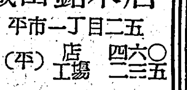
流行の季節になりますから御家庭に豫防線を張りシラミ軍の侵入を守りましよう

頭髮・夜服・フトンを洗い淸潔にし又DDT・BHC消毒して安全を圖りましよう

藥局 あこう 平市銀座 電44

銘木

ベニヤ板各種 床柱 天井板 建築木材一式



織田銘木店 平市一丁目二五 電話（平）店 四六〇 工場 二三五

皆樣！

こんな落着いた室内で美味しいお食事をお考えになつた事がありませんか

平驛前世界館入口 ◇不二ストアー階上へお出で下さい

近代的大衆食堂 不二屋 電886番 電話を御利用下さい

ベルト・皮車は―佐藤鐵工所 販賣部へ 平市四丁目マルトモビル電731

おでき、くさ、胎毒

ヒフ病退治藥種々

手當法養生法親切丁寧にお話します 遠くからワザぐ\來られた方々の感謝狀澤山 愉快です

藥のことなら勉强している ダルマ藥局 小名濱町本町電一二三番

近日開業

内風呂 御旅館

古里（フルサト）

佐々木貞子 平市古かじ町 電話五七七番

水虫に佐藤のタムシチンキ 腹痛には佐藤のホミカロートチヤス

小名濱町下町 西原榮一藥舗